

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高校 平成30年度 シラバス

Subject / Course / Grade Level 教科 / 科目 / 学年	英語 / Communication I 高1 International Standard	Textbooks 使用教科書	“Pro-Vision I”	Class hours 時間数	4時間 / 週
---	---	---------------------------	----------------	---------------------------	---------

1学期 中間試験

Name of Unit, Project 単元	Lesson 1 “The Power to Survive” Lesson 3 “The Sky’s Your Only Limit” Self-Study	Materials 教材	“Pro-Vision I” “Pro-Vision I Workbook”
---------------------------------	--	---------------------	---

Unit Description 単元の概要	Lesson 1 本文について、新出語彙・文の構造を学習し、本文を読解する。ワークシートを用いて音読の練習を重ね、英問英答で内容理解の深化を図り、パラグラフごとに要約を行う。また、トピックの内容に基づき、これまで直面した困難とその対処法についてディスカッションを重ねた後、ペアワークで将来希望する職業について調査し発表する。
----------------------------------	--

Content Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。	B3 ①与えられたテーマに対して、英語を通じてディスカッションができ、他者の考えを理解し、自らの意見を論理的に主張することができる。 ②自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3	A3 将来の職業について広く調べ、新出単語や本文の表現を活用しながら、相手に伝わる発音・抑揚を以て発表を行うことができる。	B3 困難と対処法について、他者の経験や意見を比較・考察した上で、自らの経験や意見を論理立てて発言し、相手に理解してもらうことができる。	C3
好	A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。	B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。	C2	A2 ①新出単語や本文内の表現について、様々な例文を通じて多義的な理解ができる。 ②本文内容に関して英問英答できる。	B2 ①本文の内容について論理的に要約を行った上で、自分の立場に置き換えて考え、既習の単語や表現を応用しながら解釈を加えることができる。	C2
知	A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。	B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身に付ける。	C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身に付ける。	A1 ①新出単語の発音・意味を理解できる。 ②文の構造を正しく把握し、内容を理解できる。 ③抑揚やチャンクを意識した音読ができる。	B1 ①本文の内容について、パラグラフごとにキーワードを拾うことができる。 ②困難と対処法について、他者の経験や考えを聞き受け止めることができる。	C1 異なる言語圏・文化圏の職業観について広く理解した上で、自分の将来について新たな価値可能性を見出し発表することができる。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> Term Test 60%, In-Class Participation 40%: Pair Presentation, Vocabulary Test, Workbook Submission <ICT> iMovie, Power point, Digital Textbook, Nearpod <Skills> Presentation, Discussion, Vocabulary and Grammar needed to express thoughts and opinions
---------------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高校 平成30年度 シラバス

Subject / Course / Grade Level 教科 / 科目 / 学年	英語 / Communication I 高1 International Standard	Textbooks 使用教科書	“Pro-Vision I”	Class hours 時間数	4時間 / 週
---	---	---------------------------	----------------	---------------------------	---------

1学期 期末試験

Name of Unit, Project 単元名	Lesson 5 “Chocolate: A Story of Light and Dark”	Materials 教材	“Pro-Vision I” “Pro-Vision I Workbook”
-------------------------------------	---	------------------------	---

Unit Description 単元の概要	Lesson 5 本文について、新出語彙・文の構造を学習し、本文を読解する。ワークシートを用いて音読の練習を重ね、英問英答で内容理解の深化を図り、パラグラフごとに要約を行う。また、トピックの内容に基づき、国際社会問題についてディスカッションや更なるリーディングを重ねながら、チョコレート産業の背景に潜む諸問題についてグループで調査し発表する。
----------------------------------	---

Content Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容
-------------------------------	---------------------------------

楽	A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。	B3 ②自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3		A3 ①国際社会問題について広く調べ、新出単語や本文の表現、文構造を活用しながら、相手に伝わる発音・抑揚を以て発表を行うことができる。	B3 ①国際社会問題について、客観的な事実や他者の意見を比較・考察した上で、自らの意見を論理立てて発言し、相手を納得させることができる。	C3
好	A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。	B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。	C2		A2 ①新出単語や本文内の表現について、様々な例文を通じて多義的な理解ができる。 ②本文内容に関して英問英答できる。	B2 ①本文の内容について論理的に要約を行うことができる。 ②国際社会問題について、様々な視点を踏まえた上で、客観的な事実と自らの考えをまとめることができる。	C2
知	A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。	B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身に付ける。	C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身に付ける。		A1 ①新出単語の発音・意味を理解できる。 ②文の構造を正しく把握し、内容を理解できる。 ③抑揚やチャンクを意識した音読ができる。	B1 ①本文の内容について、パラグラフごとにキーワードを拾うことができる。 ②国際社会問題について様々な視点を学び、理解することができる。	C1 国際社会の構造について広く理解した上で、自分の将来について新たな価値可能性を見出し発表することができる。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking				

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高校 平成30年度 シラバス

Others 備考	<評価方法> Term Test 60%, In-Class Participation 40%: Group Presentation, Vocabulary Test, Workbook Submission <ICT> Keynote, Power point, Digital Textbook, Nearpod <Skills> Presentation, Discussion, Vocabulary and Grammar needed to express thoughts and opinions
----------------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高校 平成30年度 シラバス

Subject / Course / Grade Level 教科 / 科目 / 学年	英語 / Communication I 高1 International Standard	Textbooks 使用教科書	“Pro-Vision I”	Class hours 時間数	4時間 / 週
2学期 中間試験					
Name of Unit, Project 単元名	Lesson 2 “Oh Bento” Lesson 7 “Talking Plants” Self-Study	Materials 教材	“Pro-Vision I” “Pro-Vision I Workbook”		
Unit Description 単元の概要	Lesson 2 本文について、新出語彙・文の構造を学習し、本文を読解する。ワークシートを用いて音読の練習を重ね、英問英答で内容理解の深化を図り、パラグラフごとに要約を行う。また、トピックの内容に基づき、各国独自の食文化およびグローバル化による影響について更なるリーディングや議論を通して比較・分析を重ねながら、個別にエッセイを作成する。さらに、学内スピーチコンテストに向け、効果的なスピーチを行うために求められるスキルの構築を図る。				
Content Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容				

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高校 平成30年度 シラバス

楽	A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。	B3 ②自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3 新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。	A3 ①単語や文構造の知識を活用しながら、様々な食文化について広く調べ、比較・分析を行うための素材を集めることができる。	B3 ①食文化におけるグローバル化の影響について、客観的な事実や他者の意見を比較・考察した上で、自らの意見を論理立ててエッセイを仕上げることができる。	C3				
	好	A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。	B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。				C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。	A2 ①新出単語や本文内の表現について、様々な例文を通じて多義的な理解ができる。 ②本文内容に関して英問英答できる。	B2 ①本文の内容について論理的に要約を行うことができる。 ②食文化におけるグローバル化の影響について、様々な視点を踏まえた上で、客観的な事実と自らの考えをエッセイに含めることができる。	C2 食文化におけるグローバル化の影響を踏まえ、今後の課題を探り、新たな可能性を示唆することができる。
	知	A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。	B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身に付ける。				C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身に付ける。	A1 ①新出単語の発音・意味を理解できる。 ②文の構造を正しく把握し、内容を理解できる。 ③抑揚やチャンクを意識した音読ができる。	B1 ①本文の内容について、パラグラフごとにキーワードを拾うことができる。 ②他国の食文化とグローバル化の影響について学び、理解することができる。	C1 他国の食文化について広く理解した上で、グローバル化の影響の過程と今後の予測について考察することができる。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking							

Others 備考	<p><評価方法> Term Test 60%, In-Class Participation 40%: Essay, Vocabulary Test, Workbook Submission</p> <p><ICT> Keynote, Power point, Digital Textbook, Nearpod</p> <p><Skills> Discussion, Analysis, Comparison, Vocabulary and Grammar needed to express thoughts and opinions</p>
------------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高校 平成30年度 シラバス

Subject / Course / Grade Level 教科 / 科目 / 学年	英語 / Communication I 高1 International Standard	Textbooks 使用教科書	“Pro-Vision I”	Class hours 時間数	4時間 / 週
2学期 期末試験					
Name of Unit, Project 単元名	Lesson 6 “The Power of Music to Change Young Lives” Lesson9 “Snow Crystals-Winter’s Miracles of Beauty” Self-Study	Materials 教材	“Pro-Vision I” “Pro-Vision I Workbook”		

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高校 平成30年度 シラバス

Unit Description 単元の概要	Lesson 6 本文について、新出語彙・文の構造を学習し、本文を読解する。ワークシートを用いて音読の練習を重ね、英問英答で内容理解の深化を図り、パラグラフごとに要約を行う。また、トピックの内容に基づき、音楽の持つ普遍的な力について、グループで調査・議論・分析を重ねた後、レポートにまとめる。
-----------------------------------	--

Content Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
察	A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。	B3 ②自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3 新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。	A3 ①単語や文構造の知識を活用しながら、音楽の普遍的な力について語られた様々な素材を発見し、読み聞きして内容を理解することができる。	B3 ①音楽の普遍的な力について、客観的な事実や他者の意見を比較・考察した上で、グループの意見をまとめてレポートを仕上げるすることができる。	C3
好	A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。	B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べることができる。	C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。	A2 ①新出単語や本文内の表現について、様々な例文を通じて多義的な理解ができる。 ②本文内容に関して英問英答できる。	B2 ①本文の内容について論理的に要約を行うことができる。 ②音楽の普遍的な力について、様々な視点を踏まえた上で、客観的な事実と自らの考えをレポートに含めることができる。	C2 音楽の普遍性と時代の変化による影響を考察した上で、既出あるいは今後予測される論点について、広い視野と客観性を以て新たなアイデアを生み出せる。
知	A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。	B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身に付ける。	C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身に付ける。	A1 ①新出単語の発音・意味を理解できる。 ②文の構造を正しく把握し、内容を理解できる。 ③抑揚やチャンクを意識した音読ができる。	B1 ①本文の内容について、パラグラフごとにキーワードを拾うことができる。 ②音楽の普遍的な力について様々な事実や視点を発見・理解することができる。	C1 音楽の持つ力について国や文化による共通点と相違点を理解し、時代の変化による影響も考察できる。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<p><評価方法> Term Test 60%, In-Class Participation 40%: Pair Presentation, Vocabulary Test, Workbook Submission</p> <p><ICT> Keynote, Power point, Digital Textbook, Nearpod</p> <p><Skills> Survey, Analysis, Discussion, Vocabulary and Grammar needed to express thoughts and opinions</p>
----------------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高校 平成30年度 シラバス

Subject / Course / Grade Level 教科 / 科目 / 学年	英語 / Communication I 高1 International Standard	Textbooks 使用教科書	“Pro-Vision I”	Class hours 時間数	4時間 / 週
--	---	----------------------------	----------------	----------------------------	---------

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高校 平成30年度 シラバス

3学期 学年末試験

Name of Unit, Project 単元名	Lesson 8 “One Pen Can Change the World”	Materials 教材	“Pro-Vision I ” “Pro-Vision I Workbook”
Unit Description 単元の概要	Lesson 8本文について、新出語彙・文の構造を学習し、本文を読解する。ワークシートを用いて音読の練習を重ね、英問英答で内容理解の深化を図り、パラグラフごとに要約を行う。また、トピックの内容に基づき、国際的に見た教育問題等についてさらなるリーディング素材やスピーチに触れる。その後、任意のトピックで2分間スピーチを行う。		
Content Standards 評価規準		Learning Objectives 学習内容	
楽	A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。	B3 ②自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3 新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。
好	A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。	B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べることができる。	C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。
知	A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。	B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身に付ける。	C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身に付ける。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking
			A3 ①単語や文構造の知識を活用しながら、任意のトピックについて語られた様々な素材を発見し、読み聞かして内容を理解することができる。
			B3 ①任意のトピックについて、客観的な事実や他者の意見を比較・考察した上で、グループの意見をまとめてレポートを仕上げるることができる。
			C3 任意のトピックの課題について、幅広い知識や情報を踏まえつつ、国際社会に発信し得る革新的な発想を以て解決策を提示できる。
			A2 ①新出単語や本文内の表現について、様々な例文を通じて多義的な理解ができる。 ②本文内容に関して英問英答できる。
			B2 ①本文の内容について論理的に要約を行うことができる。 ②任意のトピックについて、様々な視点を踏まえた上で、客観的な事実と自らの考えをレポートに含めることができる。
			C2 任意のトピックについて、国際的な視野を以て、課題を探り、客観的な事実を踏まえて課題解決策を提示できる。
			A1 ①新出単語の発音・意味を理解できる。 ②文の構造を正しく把握し、内容を理解できる。 ③抑揚やチャンクを意識した音読ができる。
			B1 ①本文の内容について、パラグラフごとにキーワードを拾うことができる。 ②任意のトピックについて様々な事実や視点を発見・理解することができる。
			C1 任意のトピックについて、自分の持つ価値観を打ち破り、様々な視点を広く理解した上で、発表することができる。
Others 備考	<評価方法> Term Test 60%, In-Class Participation 40%: Speech, Vocabulary Test, Workbook Submission <ICT> Keynote, iMovie, Power point, Digital Textbook, Nearpod <Skills> Speech Delivery, Vocabulary and Grammar needed to express thoughts and opinions		